

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場会社名 ソーシャル・エコロジー・プロジェクト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6819 URL http://www.social-eco.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)北本 幸寛
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画室 (氏名)桑原 亮介 (TEL)03(5464)2380
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,930	16.4	54	83.3	58	7.2	41	10.5
26年3月期第3四半期	1,658	5.9	29	—	54	779.9	37	△68.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 39百万円(14.3%) 26年3月期第3四半期 34百万円(△73.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	1 47	— —
26年3月期第3四半期	1 48	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,291	801	62.0
26年3月期	1,177	653	55.5

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 801百万円 26年3月期 653百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	— —	0 00	— —	0 00	0 00
27年3月期	— —	0 00	— —		
27年3月期(予想)				0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,340	9.2	95	284.0	70	8.5	50	△46.5	1 76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期3Q	28,496,537株	26年3月期	26,496,537株
27年3月期3Q	19,193株	26年3月期	19,013株
27年3月期3Q	28,048,450株	26年3月期3Q	25,332,434株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策・金融緩和の継続により企業収益・雇用情勢に改善がみられ、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。消費税率引き上げに伴う駆け込み需要とその反動により、個人消費は不安定な状態が続きました。

このような状況下、当社が展開するレジャー事業では、伊豆シャボテン公園グループの「伊豆半島最大のテーマパークづくり」や「年間入園者数200万人」を目標に、各運営施設の入園者数と売上確保に努め、更なる経費削減を実施しております。平成26年4月1日より、伊豆シャボテン公園、伊豆ぐらんぱる公園及び伊豆海洋公園磯プールの入園料金改定を行いました。エンターテインメント事業では、継続してCM制作受注に努めております。また投資事業では、引き続き過去に投資した債権の回収を図っております。リスクマネジメントの観点から事業ポートフォリオの再構築についても適宜検討しております。

なお、当第3四半期連結累計期間は、前経営陣の在職期間に発生した「取締役による株主総会決議不存在、決議存在確認および取締役の地位確認訴訟」や「株主に対する議決権行使禁止の仮処分申立て」などをはじめとする多大な訴訟費用が59百万円（前年同四半期は28百万円）及び、平成26年12月26日付開示でもお知らせいたしました、当社子会社に関する廃棄物処理法違反事件における訴訟関連費用・撤去費用・罰金が4百万円となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高19億30百万円（前年同四半期比16.4%増）、営業利益54百万円（前年同四半期比83.3%増）、経常利益58百万円（前年同四半期比7.2%増）、四半期純利益41百万円（前年同四半期比は10.5%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の概況をセグメント別に申し上げますと次のとおりであります。

(レジャー事業)

レジャー事業では、以下の売上向上施策を行いました。

伊豆シャボテン公園では、皆様方の温かいご支援・ご協力のおかげで平成26年10月22日に開園55周年を迎えることが出来ました。また「カピバラの露天風呂」の展示場をリニューアルし、平成26年11月22日より伊豆の冬の風物詩「元祖カピバラの露天風呂」を開始しました。伊豆ぐらんぱる公園では、飼い主と愛犬が参加するわんちゃん運動会「第2回ぐらわんピック」を開催いたしました。伊豆四季の花公園では、「絵本の庭～シンデレラ～」を新設し、カフェレストラン「フルール」、スーベニール「ミニョン」やプチカフェ「ブーケ」をリニューアルオープンいたしました。伊豆海洋公園ダイビングセンターでは、大晦日の恒例行事「ナイトダイビング2014」を開催いたしました。また伊豆高原旅の駅ぐらんぱるぽーとでは、伊東港で水揚げされた新鮮な魚を使用した「地魚茶漬け」の売り上げが好調でした。

この結果、レジャー事業では、売上高18億39百万円（前年同四半期比19.4%増）営業利益1億9百万円（前年同四半期比102.0%増）となりました。

(エンターテインメント事業)

エンターテインメント事業では、CM制作による売上や当社が保有するコンテンツの二次使用による著作権収入がありました。

この結果、エンターテインメント事業では、売上高91百万円（前年同四半期比22.2%減）営業損失38百万円（前年同四半期連結累計期間は営業利益0百万円）となりました。

(投資事業)

投資事業では、過去に投資した投資有価証券の売却や債権回収を図りましたが、新規投資による売上はありませんでした。

(その他事業)

その他事業では、売上高0百万円、営業損失57百万円（前年同四半期連結累計期間は、営業損失18百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて43百万円増加し、3億67百万円となりました。これは主として、未収入金が41百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて70百万円増加し、9億23百万円となりました。これは主として、建物及び構築物が71百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて1億13百万円増加し、12億91百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて18百万円減少し、3億32百万円となりました。これは主として、未払金が20百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて15百万円減少し、1億57百万円となりました。これは主として、退職給付に係る負債が14百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて33百万円減少し、4億90百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて1億47百万円増加し、8億1百万円となりました。これは主として、増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ54百万円、四半期純利益計上等により利益剰余金が40百万円増加したこと等によります。

また、自己資本比率は前連結会計年度末の55.5%から62.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成26年5月13日に発表しました平成27年3月期通期の業績予想を修正しました。

また、平成26年11月12日に発表しました平成27年3月期通期の個別業績予想を修正しました。

なお、詳細につきましては、平成27年2月12日に公表いたしました「業績予想の修正（連結及び個別）」に関するお知らせをご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度の減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

1 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	185,244	175,773
売掛金	24,335	13,830
未収入金	484	42,045
商品等	14,360	23,789
短期貸付金	770	20,000
繰延税金資産	39,000	44,035
その他	61,166	57,883
貸倒引当金	△1,594	△10,240
流動資産合計	323,768	367,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	385,308	456,526
土地	270,252	270,252
その他	78,005	101,302
有形固定資産合計	733,565	828,081
無形固定資産		
ソフトウェア	6,382	13,684
ソフトウェア仮勘定	9,990	516
無形固定資産合計	16,372	14,201
投資その他の資産		
投資有価証券	72,172	57,840
長期貸付金	20,750	20,750
長期化営業債権	93,865	92,615
破産更生債権等	754	754
その他	31,865	23,869
貸倒引当金	△115,369	△114,119
投資その他の資産合計	104,037	81,709
固定資産合計	853,975	923,992
資産合計	1,177,743	1,291,108

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	68,392	50,357
未払金	205,092	184,811
前受金	9,216	9,048
預り金	8,158	11,997
未払法人税等	9,151	13,678
賞与引当金	14,004	5,416
債務保証損失引当金	20,000	20,000
その他	16,856	37,169
流動負債合計	350,872	332,479
固定負債		
退職給付に係る負債	133,504	119,120
その他	39,558	38,487
固定負債合計	173,063	157,608
負債合計	523,936	490,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,091	455,091
資本剰余金	132,500	186,500
利益剰余金	132,584	173,509
自己株式	△12,368	△11,958
株主資本合計	653,807	803,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	△2,122
その他の包括利益累計額合計	-	△2,122
純資産合計	653,807	801,020
負債純資産合計	1,177,743	1,291,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,658,386	1,930,260
売上原価	681,963	766,508
売上総利益	976,422	1,163,752
販売費及び一般管理費	946,739	1,109,331
営業利益	29,683	54,420
営業外収益		
受取利息	680	486
賞与引当金戻入額	-	5,697
為替差益	5,026	-
償却債権取立益	250	-
退職給付引当金戻入額	20,351	-
その他	9,334	5,903
営業外収益合計	35,643	12,087
営業外費用		
支払利息	947	48
為替差損	-	142
貸倒引当金繰入額	9,612	7,396
その他	-	220
営業外費用合計	10,559	7,808
経常利益	54,767	58,699
特別利益		
投資有価証券売却益	1,000	-
固定資産売却益	-	74
債務免除益	2,392	1,889
債務消滅益	3,900	-
特別利益合計	7,292	1,963
特別損失		
投資有価証券評価損	14,976	12,209
固定資産除却損	2,068	-
減損損失	-	306
特別損失合計	17,045	12,515
税金等調整前四半期純利益	45,014	48,147
法人税、住民税及び事業税	7,611	11,836
法人税等調整額	-	△5,035
法人税等合計	7,611	6,800
少数株主損益調整前四半期純利益	37,402	41,346
四半期純利益	37,402	41,346

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	37,402	41,346
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△3,087	△2,122
その他の包括利益合計	△3,087	△2,122
四半期包括利益	34,315	39,223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,315	39,223
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

前連結会計年度末に比して、以下のとおり株主資本の金額に著しい変動が認められます。

(単位：千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	268,591	—	40,052	△13,241	295,403
当第3四半期連結会計期間末までの変動額					
新株の発行	132,500	132,500	—	—	265,000
四半期純利益	—	—	37,402	—	37,402
自己株式の売却	—	—	—	651	651
自己株式の取得	—	—	—	△139	△139
自己株式処分差損	—	—	△584	—	△584
当第3四半期連結会計期間末までの変動額合計	132,500	132,500	36,818	512	302,330
当第3四半期連結会計期間末残高	401,091	132,500	76,870	△12,728	597,733

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

前連結会計年度末に比して、以下のとおり株主資本の金額に著しい変動が認められます。

(単位：千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	401,091	132,500	132,584	△12,368	653,807
当第3四半期連結会計期間末までの変動額					
新株の発行	54,000	54,000	—	—	108,000
四半期純利益	—	—	41,346	—	41,346
自己株式の取得	—	—	—	△57	△57
自己株式の処分	—	—	—	468	468
自己株式処分差損(△)	—	—	△422	—	△422
当第3四半期連結会計期間末までの変動額合計	54,000	54,000	40,924	410	149,335
当第3四半期連結会計期間末残高	455,091	186,500	173,509	△11,958	803,143

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レジャー 事業	映像・音盤 関連事業	投資事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,540,695	117,153	—	1,657,849	536	1,658,386	—	1,658,386
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	3,904	11	85,714	89,630	26,158	115,788	△115,788	—
計	1,544,599	117,165	85,714	1,747,479	26,695	1,774,174	△115,788	1,658,386
セグメント利益又は 損失(△)	54,380	0	△6,677	47,703	△18,477	29,226	457	29,683

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額457千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レジャー 事業	エンターテ イメント事 業	投資事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,839,015	91,187	—	1,930,202	57	1,930,260	—	1,930,260
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	797	40	125,000	125,837	25,822	151,660	△151,660	—
計	1,839,813	91,227	125,000	2,056,040	25,880	2,081,921	△151,660	1,930,260
セグメント利益又は 損失(△)	109,845	△38,422	40,036	111,459	△57,038	54,420	—	54,420

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額△151,660千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。